学校番号	306

平成 31 年度　福祉科

教科	福祉	科目	生活支援技術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「生活支援技術」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在の介護技術について関心を持ちましょう。
学んだことを自分の生活でも活かせるように、真面目に取り組みましょう。
実習を通して、実際にさまざまな介護技術を身につけます。
被介護者の気持ちをしっかりと考えましょう。
実習は基本ペアで行いますので、相手のためにも恥ずかしからずに取り組みましょう。
提出物は遅れないようにしましょう。

2　学習の到達目標

自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解し、基礎的な介護の知識と技術を習得するとともに、さまざまな場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	介護従事者という意識を持ち、被介護者のＱＯＬの向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	被介護者を取り巻く環境の課題点を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、創造する能力を身につけている。	介護計画の立て方や、さまざまな介護技術に関する基本的、基礎的な技術を身につけている。	介護計画の立て方や、さまざまな介護技術に関する基本的、基礎的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 実技テスト	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート グループワーク 事例検討 実技テスト 自己評価	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 実技テスト	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 実技テスト ペーパーテスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	私たちの暮らしと生活支援 自立に向けた生活支援技術	手洗いの仕方 介護計画の仕方 アセスメントの方法 ボディメカニクスについて ベッドメイキング 体位変換	 ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ 	a:介護業界の現状に関心を持ち、被介護者の環境の向上を目指して意欲的に取り組もうとしている。 b: 被介護者がより良い介護を受けられるように、相手の気持ちを汲みながら自分自身で方法を考察し、表現する能力を身につけている。 c:ベッドメイキング、体位変換の技術を身につけ、ボディメカニクスを利用した介護ができている。 事例検討を通し、介護計画を実際に立て、問題点を見つけることができる。 d: それぞれの介護をするための知識を身につけている。	・授業観察 ・実技テスト ・事例検討 ・グループワーク ・レポート
2	自立に向けた生活支援技術	車いすの操作方法 移動介助 衣服の着脱介助 排泄介助 食事介助 口腔ケア	○ 	 ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	○ 	a:被介護者の気持ちに関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:被介護者がより良い介護を受けられるように、相手の気持ちを汲みながら自分自身で方法を考察し、表現する能力を身につけている。 c:それぞれの介護をするための技術を身につけている。 d: それぞれの介護をするための知識を身につけている。	・授業観察 ・実習記録 ・実技テスト ・レポート

3	自立に向けた生活支援技術	レクレーションの考え方 レクレーション実習	○ ○	○	○		a:レクレーションの意義、役割を理解し、意欲的にレクレーションの計画に取り組んでいる。 b:レクレーションに参加する人について考察し、その人に合ったレクレーションを考え、工夫し創造する能力を身につけている。 c:実際に本校2年生へのレクレーションを計画し、実践する技術を身につけている。 d: レクレーションに関する基礎的な知識を身につけている。	・授業観察 ・実習記録 ・レクレーション実習への参加 ・ペーパーテスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。